

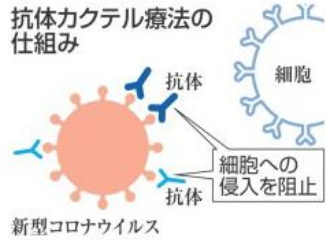
新型コロナ

# 「カクテル療法」新薬承認

## 2種類の抗体点滴で投与

田村憲久厚生労働相は19日、中外製薬（東京都中央区）が申請した新型コロナウイルス治療の「抗体カクテル療法」で使う新薬について、緊急時に審査を簡略化できる「特例承認」に基づいて正式に薬事承認した。国内4例目で、軽症者対象の治療薬としては初の承認となる。

これまでの3例は別疾患の治療薬を転用したものが、新薬は新型コロナ用に



抗体カクテル療法の仕組み

開発された。抗体カクテル療法では2種類の抗体「カシリマブ」「イムデビマブ」を組み合わせた点滴薬を投与する。国内では、重症化リスクを持ち、酸素投与を必要としない入院患者を対象に使用する。20日から各地の医療機関へ配送を始める。

**海外の臨床試験（治験）**

では、入院や死亡のリスクを約7割減らす効果が確認された。感染したトランプ前米大統領への治療に使われたことでも知られる。

**米リジエネロン・ファーマシューティカルズが開発**

し、中外製薬が国内での販売を担う。米国では昨年11月に緊急使用許可が出ており、日本では今年6月に承認申請されていた。

国内ではこれまでに、抗ウイルス薬「レムデシビル」、抗炎症薬「デキサメタゾン」、リウマチ薬「バリシチニブ」がコロナ治療に使われている。

現在18歳以上となっている米モデルナ製の新型コロナウイルスワクチンの対象年齢については、添付文書を改訂し12～17歳にも広げることを厚生省の専門部会が了承した。ただ現状では、職場や大規模接種会場の需要に供給が追いついていないため、子どもへの接種がどう進むかは不透明だ。

**抗体カクテル療法**

細菌やウイルスなどの異物が体内に侵入してきた際に体を守る抗体を人工的に作り出して、薬として利用するのが抗体医薬。これを複数組み合わせて利用するのが抗体カクテル療法。抗体医薬はがんやリウマチの治療薬として各国で広く承認されているほか、米国で承認されたアルツハイマー病新薬にも使われている。

(C)神戸新聞社 無断転載 複製および頒布は禁止します。

名前【 \_\_\_\_\_ 】

①新型コロナウイルス治療の新薬が正式に薬事承認されましたが、今回の「抗体カクテル療法」はどのように行いますか。

②新薬の承認は国内で4例目ですが、今まで承認された3つを書きましょう。

③「抗体カクテル療法」を使用する対象となるのはどのような人ですか。

④海外の臨床試験（治験）では、どんな効果が確認されていますか。

⑤「抗体カクテル療法」をおこなう理由について調べてみましょう。